

KBI NEWS



〒630-0266
 奈良県生駒市門前町 22-1
 TEL: 0743-70-8600
 FAX: 0743-70-8601
 編集・発行人: 大田裕作
 郵便振替: 01140-6-67708
 銀行: 尼崎信用金庫上ヶ原支店普通 0015453
 Eメールアドレス: kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp
 ホームページ: <http://www.kbiwave.com>

**ヴィジョンは大きく、
 働きは小さなことに忠実に！**

アジア・アウトリーチ・
 ジャパン
吉田 隆 宣教師



KBI学院長の**大田先生**が掲げるモットーは、「十字架・聖霊・宣教」です。KBIでは、変則的な場合もありますが、三年生が海外に宣教旅行に出かけることになっていきます。

今年私が引率の役割を仰せつかり、十一人の学生たちとネパールに出かけました。ネパールは現在、クリスチャン人口の伸び率で世界第一位となったことがアメリカの雑誌で紹介されました。二〇一三年にゴードン・コーンウェル神学院が発表した統計によると、

一九七〇年に〇・一%であったクリスチャン人口は二〇二〇年までに三・八%になるであろうと予測されています。

今回ネパールを訪問した私たちは、それを肌で実感しました。牧師たちは、「悪霊たちが出て行き、病気が癒されることを通して、イエス様を信じた人々が八割を超える」と具体的な証を通して教えてくださいました。

さてKBIでは、将来を見据えて、日本での教会開拓にも力を注いでいます。今回、ネパールでは開拓から十ヶ月の三教会を訪問しました。第一の教会は八人からメンバーが三十五人に、第二の教会は五人から六十人に、第三の教会も三十五人に成長しました。この数には子どもたちも入っています。ただし成長に関する方法論は、地域によって異なっていました。しかも、最初の八ヶ月間はほとんど成長がなく、その期間に祈りながら伝道と訪問などを繰り返した結果、二ヶ月間で成長したというようなほほ共通の証を聞きまし

た。ここで、日本の教会開拓や既存の教会の成長についての原則を教えられました。それは、成長のない祈りの期間を経て、個々の置かれた状況に即した聖霊なる神様からのみ声(戦略)に従うならば、大きな成長につながるということです。

ヒンズー教が圧倒的に支配するネパール政府や人々は、成長するキリスト教界に対して、今なお迫害を加えています。今回も、私たちが撮ったある写真について「インターネットにアップしないでください！」と頼まれました。

今回のネパール訪問の理由の一つは、ラジュ牧師とチームが二〇一四年秋にKBIを訪問してくださったことです。私はそのセミナーに自ら参加しましたが、ラジュ牧師が語った言葉が強く私の心を捕らえました。

「ヴィジョンは大きく、働きは小さなことに忠実に！」

この言葉を、KBIニュースを読んでくださる皆様に送ります。



3年生アウトリーチ in ネパール

2017年2月1日～10日



三年 久保 献一

二月一日から十日まで吉田隆先生と三年生十一名でネパールへ行きました。首都カトマンズチーム八名、ゴルカチーム四名に分かれての活動でした。

ゴルカは、二〇一五年四月に起きたネパール地震の震源地で、ゴルカチームは学校建設のサポートをしました。カトマンズチームは次の二つの目的で行きました。

① 現在世界で最もキリスト教人口が増加しているネパールの状況を見て学んでくること。

② 人身売買、児童売春などで苦しんでいる少女たちを救出する働きを見て支援すること。

救出する少女たちはバディ族です。バディ族はヒンズーのカースト制度において最下層の部族とされています。バディ族の多くの子どもたちは、よい教育を受けられず、安定した仕事に就くことができません。この子どもたちを救出し、保護、自立支援まで導く団体が、Light's House Foundationです。その創設に関わったのがホザナ・チャーチのラジュ・サンダス牧師です。



ホザナ・チャーチ

私たちは、この団体が運営しているホステルや学校を訪問し、この地で働かれている主の業の大きさを目の当たりにしました。また、ホザナ・チャーチは開拓伝道に力を入れています。多くの村々で、教会が開拓され、成長している様子を見ました。救出された子どもやラジュ牧師、また開拓教会の牧師とお交わりする中で、ネパールにおいて主が生きて働いておられることを感じ、主をあがめました。

この旅を通して教えられたことは、宣教とは福音的な働きと社会の必要に応えていくことであるということ。 「ヴィジヨ

ンを大きく持ち、小さなことから始めていくこと」、「大事なことは愛すること、受け入れること」。ラジュ牧師はこれを実践しておられました。今後も続けてネパール宣教のために祈ることと、具体的な支援の必要性を感じました。

Light's House Foundation

連絡先 : lhnepal.org

是非、お祈りに覚えて、お支え下さい。



クリスチャン・コミュニティ・スクール訪問

卒業生の証・論文タイトル・派遣先

伊藤 康弘



KBIで学ぶ道を開いてくださった主に、そして愛と忍耐をもってご指導くださったKBIの皆様、祈り支えてくださった母教会の皆様から感謝申し上げます。私にとってKBIは「相撲道場」のような場所でした。KBIという土俵で、御言葉とぶつかり稽古を繰り返した日々が、私のかげがえのない財産です。これからも栄光の主にお仕えしながら、この地に福音が満ちるために、主が来られるその日まで、主を見上げて一歩、歩み続けます。

論文タイトル

教会増殖ムーブメントにおける Discovery Bible Study の役割
派遣先 東名古屋キリスト教会
パークサイドチャペル

上野 哲志



私を救いに導き、献身に導いたのは、主のみことばでした。神学校に入って、自分の内側を探られ、自分の足りなさを痛感させられました。もうダメだと倒れ込んだ私を起こし、再び奮い立たせたのも、主のみことばでした。この素晴らしいみことばを三年間学べたことに感謝しています。力ある主のみことばを携え、伝道の地に行き、人々にみことばを大胆に宣べ伝えていきたいと願っています。
「あなたのみことばは、私の足ともしび、私の道の光です。」
(詩篇百十九篇百五節)

論文タイトル

日本宣教における信徒による家の教会
派遣先 塩釜聖書バプテスト教会

大角 詩音



私はKBIで、これからの牧会宣教のために必要なことを多く学びました。その中で特に日本宣教について教えられました。日本宣教の現状を見る時に教勢は下がっている厳しい状況にあります。KBIでは日本の各地域において二%の魂の救いをビジョンに掲げています。主は日本を見捨てておらず、クリスチャンの一人一人が証人として福音を証して行った時に、必ず日本に救いが起こり、そして二%は達成できると信じます。私も主の証人として、日本の救いのために前進していきたいです。

論文タイトル

聖化を考える教会が正しく霊的成長していくために
派遣先 峰町キリスト教会

小川 祐司



私はアメリカの神学校から編入したので一年三ヶ月間という短いKBI生活でしたが、多くを学ばせて頂き心から感謝します。KBI生活の中で十字架を握る体験を致しました。そして主イエスを喜ぶことこそ私の力であると実感できる日々でした。五十歳を超えてからの神学校生活というところで、スタッフの皆様を始め教師の方々や学生の皆さんにも忍耐してもらいながら共に学ばせて頂きました。キリストの体の一部であることの喜びと自覚を胸に、これからも皆様と一緒に戦って行きたいと思っています。

論文タイトル

傷ついた教会の回復
派遣先 町田純福音教会

金子 智恵



この三年間、主が語り続けてくださったのは「我が子よ。愛する娘。」ということばでした。献身者、神学生だという思いを主の前に置き、父と子の関係の中で主に仕える時、平安と喜びがありました。

KBIでの学びを与えてくださった主に、忍耐をもってご指導くださったKBIや奉仕教会の先生方、祈り支えてくださった母教会の先生方に心から感謝致します。これから祝福の基として遣わされていきます。福音を待っている日本中、世界中の人々がイエス様を通して父の元に帰ることができますように。

論文タイトル
前進する教会

派遣先 鶴見純福音教会

川端 愛



「あなたの足のくつを脱げ。」(出エジプト記三章五節) KBIでの三年間を通して常に語られたことは、神様の前にひざまずき自分自身の一切の権利を放棄すること、徹底して自分自身に死ぬことでした。二年生の八月より始めた教会開拓では何度も自分の無力さに絶望する中、自身自身の手の業ではなく全ては神様が成して下さること、祈りを土台としないミニストリーはあり得ないことを学びました。今後も神様の前に足のくつを脱ぎ、祈りを土台とした教会開拓を行っていきます。

論文タイトル

これからの日本人伝道の鍵

ユダヤと日本

派遣先 ジーザスハウスチャーチ

久保 献一

KBIへ入学する前に主が私を選んでくださった召命は今も変わることがありません。これまで私は主の働き人としてふさわしくないと感じる事が多々ありました。しかし主はそんな私を励まし続けてくださいました。私はKBI生活で何度も主の恵み、憐れみを体験しました。また主は私に共に学び合う仲間を与えてくださいました。仲間を通して教えられ、自分自身が抜けられました。この仲間と共に各地に遣わされ、すべての人が救われることを信じ、主に仕えていきます。

論文タイトル

主が望んでおられる教会

リーダーとして何を大事にするのか

派遣先 善通寺バプテスト教会



鈴木 孝紀

KBIに入学する以前、「立派な献身者になる。色々なことができるようになる。」と、堅く決意したのを覚えています。蓋を開けてみたら、立派な献身者でもなく、オールラウンダーでもありませんでした。ただ一人のキリスト者として召され、召しに相応しく訓練された三年間でした。たとい転んだとしても、憐れみによって立たされる経験をする事ができました。神の恵みによって、父と母に応援されながら三年間過ごせた事を感謝致します。

論文タイトル

水子供養における赦しと癒し

キリスト教との類似性

派遣先 峰町キリスト教会



塚本 賢太郎



「見よ。兄弟たちが一つになつて共に住むことは、なんといいあわせ、なんといい楽しいさである。」(詩篇百三十三篇一節)

神様が豊かに与えてくださった恵みに感謝し、私たちの主イエス・キリストの御名を賛美いたします。

KBIには、全国の教会からさまざまな賜物をもった、幅広い年代の兄弟姉妹が集まっています。共に学び生活する中で、それぞれの違いを主が与えた個性として、受け入れ合うことを学びました。キリストのからだの豊かさを知る機会となりました。

論文タイトル

耳を傾けることよっての伝道

派遣先 ベテル教会

長尾 悟



KBIの三年間の中で「主がどれほど私を愛してくださっているか」ということを教え続けられました。

イエス様の十字架と復活の大きな愛が私のためであり、ただ恵みによって神の子とされたことがこの人生の一番の喜びです。

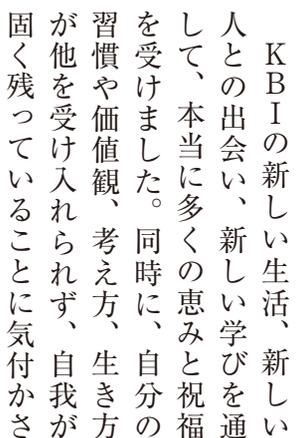
この愛を届けられることが召命として与えられている恵みに感謝で溢れています。この福音を携えて、これから私が出会う全ての人々がイエス様の愛を知ることが出来ますように、この日本に福音が満ちるために、主が来られるその日まで走り続けます。

論文タイトル

ユースの成長
ローカルチャーチと超教派の
関係性

派遣先 札幌キリスト福音館

平山 利香



KBIの新しい生活、新しい人との出会い、新しい学びを通して、本当に多くの恵みと祝福を受けました。同時に、自分の習慣や価値観、考え方、生き方が他を受け入れられず、自我が固く残っていることに気付かされる日々でした。大切だと思っていたこだわりを手放したとき、その分だけ主が私の内側を広げ、つくり変えてくださいました。

主だけを信頼し、主が示す地に出て行く心を備えられるために、私にとつて無くてはならない三年間でした。主が遣わしてくださいさる場所で、出会わせてくださる人々に、主の愛を示し、伝え続けていきたいと願っています。

論文タイトル

証し人を育てるコーチング
派遣先 NPO法人みぎわ



■修了生

本科コース 二年修了

斎藤 友良

(ニュータウンカルバリーフェローシップ)

濱田 加奈子 (One Way Church)

竹内 史子 (箕面福音教会)

本科コース 一年修了

石塚 未佳 (札幌キリスト福音館)

深田 侑亜

(名古屋グレイスキリスト教会)

光山 章姫 (東京グレイス福音教会)

田村 一希 (峰町キリスト教会)

CPRCコース(教会開拓刷新コース)

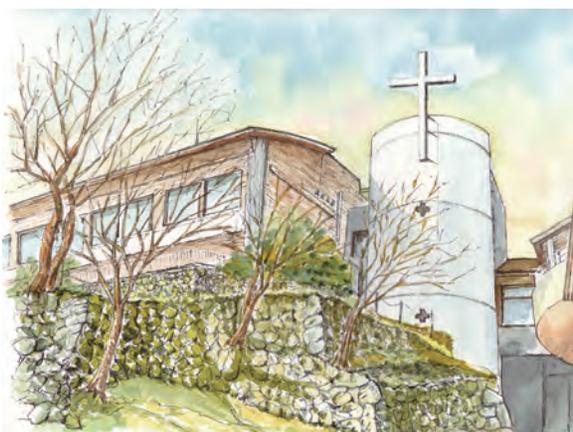
小島 正樹 (聖霊の泉教会)

ファン ジンリ

(ブンキョーゴスベルセンター)

山田 幸代

(ブンキョーゴスベルセンター)



後輩達に贈る言葉

門谷 皖一

アガペーコミュニティー

チャーチ牧師



ご卒業おめでとうございます。卒業後、他の神学校出身の妻と一緒に、地域に根差す教会を設立するよう導かれて十年目です。六十三歳から、しかも単立としてゼロからの開拓ということでした。様々の問題に直面しました。憐みと忍耐をもってここまで導いて下さり、会堂やお墓等も備えて下さった主に、感謝の思いでいっぱいです。

初めの頃は、主の御心と自分の思い、又どこを委ねてどこを自分でやるのか等で随分悩み、主が私たちを通して御心をなされるという真理を会得するまで時間がかかりました。召命感が

弱くなり苦しむ中で何度も悔い改めさせられました。そのような失敗や試練や葛藤を通して、自分の分をわきまえる、あせらず少し長期で見ると、他と比較しない、主にあつてこそサンドバックのように打たれてもへこまずにいられる等、多くのことを学ばされましたが、その根底には常にKBIでの教えがありました。

地域の人々やニーズを知る為に、地域の方々と一緒に行う趣味を、私も妻も開拓当初から幾つか持つよう導かれたのは幸いでした。それを通して教会の存在が知られるようになり、人も教会に来るようになりました。これは牧会で落ち込んだ時の気分転換にもなり、お勧めです。

地域の人々はよく見ており、そこそこでは通用しないと私自身痛感させられてきましたので、卒業生の皆様が、主への信頼、御言葉への従順、愛すること、地域に仕えることにおいて、本物であり続けられますよう心から願っています。

新門 広美

カリスチャペル

タイ宣教師

ご卒業おめでとうございます。

私は、二〇〇九年度にKBIを卒業し、昨年二〇一六年、所属教会カリスチャペルで宣教師任命を受け、タイ北部に遣わされました。この地への使命を受け取ったのは、三年生の海外アウトリーチでタイ最北部チェンライ県に滞在していた時でした。振り返れば、救われて間もなくKBIに入学した私は、右も左も分からないまま神学校生活、教会生活を始めました。教会やクリスチャンの間で常識とされていること、一つ一つが葛藤でした。そのような中で素晴らしい先生方、仲間と出会い、支えられて多くの恵みを受けました。KBIで信仰が養われたこ

とは、神様が下さった生涯の宝物だと思っています。

卒業してからの八年間、様々な困難や孤独、立ち上がる事ができないような時であっても、神様の子どもであるという事実が励まされてきました。変わる事のない真実な主が、いつも共にいて支え、語りかけ、忍耐を持って導き続けて下さっています。

「この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。」(マタイの福音書二十四章十四節)

遣わされる地、担う働きはそれぞれですが、繋ぎ合わせて下さる主に期待して、祈り合い、支え合い、同じ目標を目指して前進していきましょう。皆様の御活躍をお祈りしています。



ご献金感謝します

献金者名簿（日付順・敬称略）（2016.11.22～2017.2.5）（KBIへの直接献金分）

■一般会計献金

< KBIを支える会 >

個人：黄金井尚美、門谷暁一、斎藤邦夫、大塚泰文、兼松道子、豊村善典、伊達山洋子、安野清子、石崎政登、前田庸子、増永弘、大橋良男、田中憲昭、小山大三、山田裕一、安川真知子、岩本美保、井野葉由美、前田徳治・祥子、福元玲子、秋元清友、酒井哲男、安黒務、上坂進、松本伸一郎・亜紀子、北野恒久、田井淳子、熊本直美、山本篤、金森徹・和子、福田徹生、森本裕・真美子、大田裕作、99年度卒業生

教会 & 団体：箕面福音教会、生駒福音キリスト教会、泉南福音教会、八尾南福音教会、奈良福音教会、京都シオンの丘キリスト教会、チャペル犬山、旭川神愛キリスト教会、三国クリスチャンチャペル、尾上聖愛教会、千代田福音教会、設楽キリスト教会、ホープチャペル、和歌山福音教会、西可児キリスト教会、ヒルズチャーチ、札幌キリスト福音館、狭山福音教会、名古屋グレイス福音教会、西宮福音教会、可児福音教会、シャローム希望教会、大阪基督生命堂、奈良福音教会、神戸キリスト栄光教会、峰町キリスト教会、IGA上野福音キリスト教会、カナンプレイズチャーチ

< 運営支援献金 >

1. 支援団体献金

FFFM（キリスト福音グループ）、保土ヶ谷純福音教会、鶴見純福音教会、守山キリスト福音教会、岐阜純福音教会、御殿場純福音キリスト教会、岐阜純福音大森チャーチ、房総中央キリスト教会、KBI支援協力会（FCMF諸教会）、ジャパンベサニーミッション、フィラデルフィヤチャーチ（アトル）、犬山キリスト純福音教会、亀岡ベタニヤ教会

2. 特別献金

個人：後山慎治

教会 & 団体：TPKF イースト

● KBIを覚える日献金：善通寺バプテスト教会、岬福音教会、岡山チャペル、雲井キリスト福音教会、ヒルズチャーチ、国分福音教会、西宮福音教会、八尾南福音教会、名古屋グレイスキリスト教会、亀岡ベタニヤ教会、秦野クリスチャンセンター、ニュータウンカルバリーフェローシップ、佐用チャペル、瀬戸サレム教会、東名古屋キリスト教会パークサイドチャペル、御殿場純福音キリスト教会、富士純福音キリスト教会

「KBIを覚える日」献金は、58教会から2,044,136円ありました。感謝します。（1月31日現在）

■奨学基金献金

個人：轟節雄、芝連代、宮下真由美、出原市子、竹川正英、大濱英樹・珠子、吉田隆・恵利子

教会 & 団体：堺福音教会、チャペル犬山、西可児キリスト教会、高砂教会

■建設基金献金

個人：春名裕

教会 & 団体：秦野クリスチャンセンター、伊勢崎神愛キリスト教会、岐阜純福音教会、高砂教会

※ KBIへの直接献金分のみ記載しています。各団体に献金してくださっている場合、教会名でなくその団体名を記載しています。どうぞご了承ください。

新入生募集

《コースと費用》

- 短期コース [3 週間] 69,000 円 (授業料、寮費、食費) 締切り 2 月 28 日
日程: 4 月 11 日 (火) 入学式 ~ 4 月 28 日 (金) 修了チャペル
テーマ「共に生きる」
ゲスト講師: 大友幸一師、近藤由美師
- 本科コース 1~3年 入学金 50,000 円 660,000 円/年 (授業料、寮費、食費)
第一次締切り……2月20日、第二次締切り……3月15日
- 開拓伝道者養成・教会再生/刷新希望者コース (CPRC)
CPRC=Church Planting & Renewal Course の略
従来からの開拓者伝道養成に加えて、教会再生刷新に取り組まれる方々へのニーズにも対応するコースです。
- 宣教師訓練コース、通信教育コースも募集しています。
各コース資料請求は、事務所または、ホームページよりお問い合わせ下さい。

電話: 0743-70-8600 FAX: 0743-70-8601
E-mail: kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp
HP: <http://www.kbiwave.com>

●二〇一七年度 行事予定●

- 四月一日 (火) 入学式
- 四月一日 (火) ~ 二八日 (金) 三週間コース
- 四月一八日 (火) ~ 一九日 (水) CPRC コーススタート
- 六月三〇日 (金) ~ 七月二日 (日) 宣教ウィーク
- 七月七日 (金) 一学期終了
- 九月五日 (火) 二学期始業
- 一〇月三日 (火) ~ 六日 (金) 前期テスト
- 十一月一日 (土) ~ 一二日 (日) KBI を覚える日
- 一二月八日 (金) 二学期終了
- 一月九日 (火) 三学期始業
- 二月二〇日 (火) ~ 二三日 (金) 後期テスト
- 三月八日 (木) 卒業派遣式

●OB・OG 通信●

○高橋めぐみ宣教師
二月三日 (木) エンティコン・グロリア寮の定礎式。奥野長老 (堺 EC)、大田師が列席しました。今後の建築費用のためにお祈りください。

○高橋真一・千恵美宣教師
ビザの状況が変化し、二月二日帰国。今後の導きのためにお祈りください。

○三堂弘治師 (ジャパンベサニミッシュョン) 昨年末、牧師按手を受けられました。

○ご結婚おめでとうございます。
二月二五日 庄司好男兄と杉浦美紀子姉

*異動・転居・結婚などの消息を学院あてにお知らせください。ご連絡いただけない場合、掲載漏れや住所不明で返送されるケースが増えています。

●編集後記●

ニュース委員を担当して、多くの方々の祈りと捧げものによって私たちの学びが支えられていることを知りました。心から感謝いたします。今年もユニークな器たちが、各地に派遣されていきます。今後もお祈りに覚えていただけたら幸いです。

KBI ニュース委員 長谷川・光山